

Kenkyu Soshō No.641

研究  
双書

アフリカ女性の国際移動

児玉 由佳：編

IDE-JETRO アジア経済研究所

研究双書 No. 641

児玉由佳 編  
『アフリカ女性の国際移動』

**Afurika Jyosei no Kokusai Idou**  
(International Migration of African Women)

*Edited by*  
Yuka KODAMA

*Contents*

- Introduction International Migration of African Women (Yuka KODAMA)
- Chapter 1 Ethiopian Women Migrating to the Gulf Countries: Searching for Job Opportunities (Yuka KODAMA)
- Chapter 2 Narratives on Migration and the Survival Strategy of Kenyan Women in the Eastern United States of America (Yoko ISHII)
- Chapter 3 Mobility with Vulnerability of Mozambican Female Migrants to South Africa: Outflow from the Periphery (Akiyo AMINAKA)
- Chapter 4 Lived Experiences of Congolese Female Asylum-seekers and Refugees in South Africa (Chizuko SATO)
- Chapter 5 Livelihood Activities of Somali Women in London (Nobue SUNAGA)
- Chapter 6 Rethinking Female Migration from Sub-Saharan Africa to France in terms of Status: Family Reunification, Irregular Migration and Asylum on Ground of FGM (Yuko SONOBE)

[Kenkyu Soshō (IDE Research Series) No. 641]  
Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2020  
3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan



# 目 次

## まえがき

序 章 アフリカ女性の国際移動……………	児玉由佳…	3
はじめに……………		3
第1節 本書の対象とする国際移動と用語の定義……………		6
1-1 用語の定義		6
1-2 本書が対象とする国際移動		8
第2節 国際移動の多様性をもたらす要因とジェンダー……………		10
2-1 移動する本人・出身国・移動先国の相互作用		10
2-2 国際移動とジェンダー		14
第3節 統計データが示すアフリカ女性の国際移動……………		18
3-1 サブサハラ・アフリカ諸国の国際移動概観		19
3-2 サブサハラ・アフリカ域内移動の特徴		19
3-3 サブサハラ・アフリカ域外への移動		24
3-4 サブサハラ・アフリカにおける難民としての移動		25
3-5 多様な移動理由		27
第4節 本書の構成と各章の内容……………		28
第1章 湾岸アラブ諸国に渡航するエチオピア人女性 ——就業機会を求めて——……………	児玉由佳…	39
はじめに……………		39
第1節 湾岸アラブ諸国における外国人労働者雇用の特徴……………		41
1-1 外国人労働者依存の経済構造		41
1-2 国民と短期外国人労働者との峻別		43
1-3 スポンサー制度		44
第2節 エチオピアと湾岸アラブ諸国……………		46

2-1	移住先の変遷と湾岸アラブ諸国との多様な関係性	46
2-2	サウジアラビアへの移住者急増の背景	48
2-3	サウジアラビアにおける外国人労働者への規制強化と強制退去	51
第3節	エチオピア人女性が湾岸アラブ諸国への 労働移動を選択するプッシュ・プル要因	52
3-1	エチオピアにおけるプッシュ要因 ——就学率の上昇とそれに見合う受け皿の不足——	52
3-2	湾岸アラブ諸国のプル要因	54
第4節	湾岸アラブ諸国へ渡航した エチオピア人女性家事労働者の実態	55
4-1	調査地概要と調査方法	55
4-2	帰還女性のプロフィールと渡航歴	57
4-3	渡航までのプロセスと費用	62
4-4	渡航後の労働環境と給与水準	65
4-5	帰国後の生活	68
第5節	エチオピア政府による在外自国民保護のための取り組み	69
5-1	渡航前の職業訓練	69
5-2	渡航後の自国民の人権侵害への対策	70
おわりに		72
第2章	アメリカ合衆国東部への国際移動と生存戦略——ケニア出身 の女性移民の語りに注目して——	石井洋子… 83
はじめに		83
第1節	アメリカへ渡ったケニア人	87
1-1	在米ギクユ人女性はどこにいるのか——死亡記事より——	89
1-2	フィールドワーク	90
1-3	メリーランド州へ向かうギクユ人女性	93
第2節	女性を押し出すケニアのポリティカル・エコノミー	95

2-1 先駆者としての男性	95
2-2 追随するギクユ人女性たち	97
第3節 ギクユ人女性移民の生活戦略	99
3-1 「ミルクと蜂蜜の国」の困難	100
3-2 看護師という選択肢	102
3-3 ニッチ産業への参入	105
3-4 女性支援ネットワークの構築	109
第4節 新たなジェンダー観との対峙	113
4-1 男性「問題」とは何か	113
4-2 「アフリカ人男性を救おう」運動	116
おわりに——ふたつの大陸をめざす女性移民たち——	118
 第3章 南アフリカへ向かうモザンビーク人女性移民の移動性と脆弱性——周辺部からの流出——	網中昭世… 125
はじめに	125
第1節 先行研究——民主化後の新たな移民を捕捉する試み——	130
第2節 ICBTならびに労働移民の起源と活動の変遷	137
第3節 送出国・受入国の国境を越える経済環境の変化と影響	142
第4節 モザンビーク人女性移民の実態——ICBTと労働移民——	147
4-1 調査方法	147
4-2 変化を続けるICBT	149
4-3 労働移民女性の脆弱性	154
4-4 考察	160
おわりに	163
 第4章 南アフリカにおけるコンゴ人女性による 庇護申請と生活経験	佐藤千鶴子… 173
はじめに	173

第1節 都市難民研究の射程	176
1-1 都市難民とは誰か	177
1-2 都市難民研究の視点と関心	179
第2節 コンゴ人女性が庇護を申請する理由	182
2-1 コンゴ人の国外移住先としての南アフリカ	182
2-2 戦争に伴う暴力と迫害から逃れるための移動	185
2-3 家族の政治活動を理由とする迫害から逃れるための移動	188
2-4 家族統合のための移動	192
第3節 コンゴ人女性の不安定な滞在資格と生計活動	194
3-1 南アフリカの難民保護制度	194
3-2 滞在資格に伴う脆弱性	198
3-3 生計活動と節約生活	203
おわりに	208
第5章 英国ロンドンにいるソマリ人女性たちの	
生計活動	須永修枝… 223
はじめに	223
第1節 背景, 調査概要, 分析アプローチ	226
1-1 ソマリアでの紛争とイギリスのソマリ人の背景	226
1-2 調査概要と対象者の特徴	228
1-3 分析アプローチ——複合的埋め込み論——	231
第2節 シングルマザーとしての稼得者を支える社会保障制度	233
2-1 ソマリ人女性と男性の関係	233
2-2 シングルマザーの生計を支えるイギリスの社会保障制度	236
2-3 直面している課題	238
第3節 EU国籍者のイギリスへの移住と起業する女性たち	241
3-1 ロンドンに移住する人々	241
3-2 起業する女性たち	246

3-3 出身地域との繋がりを維持するための送金活動	249
おわりに	250
第6章 サブサハラ・アフリカからフランスへの女性の移動と滞在資格——家族統合／非正規滞在／FGMを理由とする庇護申請を中心に——	園部裕子… 257
はじめに	257
第1節 サブサハラ・アフリカからフランスへの移動とその要因	260
1-1 サブサハラ・アフリカからの労働力移動と定住（～1980年代）	260
1-2 サブサハラ・アフリカ出身移民と非正規滞在（1990年代～2000年代）	263
1-3 送出側の社会事情と移動の増加要因	267
第2節 サブサハラ・アフリカ出身女性の移動	270
2-1 家族統合による入国	270
2-2 サヘル出身女性のフランス生活と就労	273
2-3 女性の地位の変容と単身移住	277
第3節 2000年代のFGMにもとづく庇護申請	281
3-1 難民認定におけるジェンダー主流化とFGM	281
3-2 フランス国内問題としてのFGM	287
3-3 移住女性らによる申請支援と難民認定基準の変遷	289
3-4 「社会的集団」をめぐる議論と庇護の親密化	292
おわりに	295
索引	305





## アフリカ女性の国際移動



## 複製許可およびPDF版の提供について

点訳データ、音読データ、拡大写本データなど、視覚障害者のための利用に限り、非営利目的を条件として、本書の内容を複製することを認めます (<http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/reproduction.html>)。転載許可担当宛に書面でお申し込みください。

また、視覚障害、肢体不自由などを理由として必要とされる方に、本書のPDF ファイルを提供します。下記のPDF 版申込書（コピー不可）を切りとり、必要事項をご記入のうえ、販売担当宛にご郵送ください。

折り返しPDF ファイルを電子メールに添付してお送りします。

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

学術情報センター成果出版課 各担当宛

ご連絡頂いた個人情報、アジア経済研究所成果出版課（個人情報保護管理者－成果出版課長 043-299-9534）が厳重に管理し、本用途以外には使用いたしません。また、ご本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

アジア経済研究所学術情報センター 成果出版課長

PDF 版の提供を申し込みます。他の用途には利用しません。

児玉 由佳 編『アフリカ女性の国際移動』

【研究双書 No. 641】2020年

住所 〒

氏名：

年齢：

職業：

電話番号：

電子メールアドレス：



こだま ゆか  
児玉 由佳 (アジア経済研究所 新領域研究センター  
ジェンダー・社会開発研究グループ長)

いしい ようこ  
石井 洋子 (聖心女子大学 現代教養学部 人間関係学科 准教授)

あみなか あきよ  
網中 昭世 (アジア経済研究所 地域研究センター  
アフリカ研究グループ)

さとう ちづこ  
佐藤千鶴子 (アジア経済研究所 地域研究センター  
アフリカ研究グループ)

すなが のぶえ  
須永 修枝 (東京大学大学院 総合文化研究科 研究生)

そのべ ゆうこ  
園部 裕子 (香川大学 経済学部 教授)

—執筆順—

## アフリカ女性の国際移動

研究双書No.641

2020年3月19日発行

定価 [本体4800円 + 税]

編 者 児玉由佳

発行所 アジア経済研究所  
独立行政法人日本貿易振興機構

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2

学術情報センター 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 モリモト印刷株式会社

©独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 2020

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN978-4-258-04641-6

# 「研究双書」シリーズ

(表示価格は本体価格です)

641	<b>アフリカ女性の国際移動</b> 児玉由佳編 2020年 308p. 4,800円	サブサハラ・アフリカ出身女性の国際移動の多様性は、本人、出身国、移動先国という3つの要因の相互作用のなかから生まれる。本書では、事例研究を通じてその実態を明らかにする。
640	<b>途上国における農業経営の変革</b> 清水達也編 2019年 235p. 3,700円	途上国の農業部門では、土地の売買や貸借、農作業の機械化や委託、知識集約的な投入財や栽培技術の導入、生産から販売までの統合など、数々の変化が起きている。これに対応するために、外部から資本や労働力などの経営資源を積極的に導入し、経営規模を拡大してダイナミクスな成長を遂げる農業経営体が現れている。家族経営を越えた新しい農業経営の形と見えるのか、アジアやラテンアメリカの事例研究を通して考える。
639	<b>中台関係のダイナミズムと台湾</b> 馬英九政権期の展開 川上桃子・松本はる香編 2019年 228p. 3,600円	中国との葛藤に満ちた関係は、台湾の政治と経済にどのようなインパクトをもたらしているのか？馬英九政権期（2008～16年）の分析を通じて、中台関係の展開と台湾の構造変動を探る。
638	<b>資源環境政策の形成過程</b> 初期の制度と組織を中心に 寺尾忠能編 2019年 176p. 2,900円	資源環境政策は「後発の公共政策」であり、その形成過程は既存の経済開発政策の影響を受け、強い経路依存性を持つ。発展段階が異なる諸地域で資源環境政策の形成過程をとりあげてその「初期」に着目し、そこで直面した困難と内在した問題点を分析する。
637	<b>メキシコの21世紀</b> 星野妙子編 2019年 254p. 4,000円	激動のとは口にあるメキシコ。長年にわたる改革にもかかわらず、なぜ豊かで安定した国にならないのか。その理由を、背反する政治と経済と社会の論理のせめぎ合いの構図に探る。
636	<b>途上国の障害女性・障害児の貧困削減</b> 数的データによる確認と実証分析 森壮也編 2018年 199p. 3,200円	途上国の脆弱層のなかでも、国際的にも関心の高い障害女性と障害児について、フィリピン、インド、インドネシアの三カ国を取り上げ、公開データや独自の数的データを用いて、彼らの貧困について実証的に分析する。
635	<b>中国の都市化と制度改革</b> 岡本信広編 2018年 241p. 3,700円	2000年代から急速に進む中国の都市化。中国政府は自由化によって人の流れを都市に向かわせる一方で、都市の混乱を防ぐために都市を制御しようとしている。本書は中国の都市化と政府の役割を考察する。
634	<b>ポスト・マハティール時代のマレーシア</b> 政治と経済はどう変わったか 中村正志・熊谷聡共編 2018年 399p. 6,400円	マハティール時代に開始されたマレーシアはどう変わったか。政治面では野党が台頭し経済面では安定成長が続く。では民主化は進んだのか。中所得国の罠を脱したのか。新時代の政治と経済を総合的に考察する。
633	<b>多層化するベトナム社会</b> 荒神衣美編 2018年 231p. 3,600円	2000年代に高成長を遂げたベトナム。その社会は各人の能力・努力に応じて上昇移動を果たせるような開放的なものとなっているのか。社会階層の上層／下層に位置づけられる職業層の形成過程と特徴から考察する。
632	<b>アジア国際産業連関表の作成</b> 基礎と延長 桑森啓・玉村千治編 2017年 204p. 3,200円	アジア国際産業連関表の作成に関する諸課題について検討した研究書。部門分類、延長推計、特別調査の方法などについて検討し、表の特徴を明らかにするとともに、作成方法のひとつの応用として、2010年アジア国際産業連関表の簡易延長推計を試みる。
631	<b>現代アフリカの土地と権力</b> 武内進一編 2017年 365p. 4,900円	ミクロ、マクロな政治権力が交錯するアフリカの土地は、今日劇的に変化している。その要因は何か。近年の土地制度改革を軸に、急速な農村変容のメカニズムを明らかにする。
630	<b>アラブ君主制国家の存立基盤</b> 石黒大岳編 2017年 172p. 2,700円	「アラブの春」後も体制の安定性を維持しているアラブ君主制諸国。君主が主張する統治の正統性と、それに対する国民の受容態度に焦点を当て、体制維持のメカニズムを探る。
629	<b>アジア諸国の女性障害者と複合差別</b> 人権確立の観点から 小林昌之編 2017年 246p. 3,100円	国連障害者権利条約は、独立した条文で、女性障害者の複合差別の問題を特記した。アジア諸国が、この問題をどのように認識し、対応する法制度や仕組みを構築したのか、その現状と課題を考察する。